

東日本大震災被災者の健康状態等に関する調査研究（概要）

研究趣旨

以下に資するため、東日本大震災に伴う被災者の心身の負担等による健康影響を、10年間にわたり把握する。

- ①東日本大震災被災者への適切な健康管理の実施
- ②今後の重大災害時の健康支援のあり方の検討

主な調査内容

被災者の健康状態
等に関する調査

被災
直後

避難
所

仮設住宅

自宅

健康診査等による評価

H23年度から10カ年のフォローを予定

（平成24年度～ 厚労科研「健康安全・危機管理対策総合研究事業」にて実施）

コア調査項目

- ・氏名、性別、年齢、生年月日、居住地（被災前・被災後）、被災状況
- ・疾患（生活習慣病等）、歯科保健、栄養、心の健康等に関する基本的な項目
- ・健診：身体測定、血液検査、呼吸・循環機能ほか



被災者の特性に応じた追加調査

- ・透析患者、難病患者、がん患者
- ・妊婦、乳幼児
- ・障害者（身体・知的・精神）
- ・高齢者（生活不活発病、認知症等）
- ・PTSD 等

長期追跡調査による評価

脳卒中・心疾患・がんの罹患状況、死亡状況調査、医療受療状況、介護情報等に基づき、被災状況別にみた長期追跡調査を行う。

- 毎年定期的に、コア調査および該当者への追加調査を実施する。平成24年度は2万人を対象（予算積算）
- 調査により、必要に応じ、保健指導（個別相談、栄養・運動指導等）、医療機関等への紹介を行う。
- 調査は10年間の計画で実施、今後の災害発生時の被災者の健康管理に資するものとする。

※H23年度には、このほか避難所運営等に関する「被災者を支える体制に関する調査」を併せて実施

平成23年度調査研究（宮城県）の概要

宮城県

分担研究者：東北大学大学院医学系研究科地域保健支援センター長 辻一郎教授

第1回調査 調査協力者：4,094名

石巻市雄勝地区 564名 【6・7月：健診①+アンケート①】
 牡鹿地区 835名 【8月：健診①+アンケート①】
 網地島地区 197名 【9月：健診①+アンケート①】
 仙台市若林区 627名 【9・10月：アンケート①】
 七ヶ浜町 1,871名 【11・12月：アンケート①】



第2回調査

石巻市雄勝地区 704名 【健診②+アンケート②】
 牡鹿地区 512名 【健診②+アンケート②】
 仙台市若林区 275名 【健診①+アンケート②】

<協力者の平均年齢>

雄勝地区・牡鹿地区 60代前半
 網地島地区 70代前半
 若林区・七ヶ浜町 50代前半

<失業と回答した者の割合>

雄勝地区・牡鹿地区 65%
 網地島地区 46%
 若林区 32%

アンケート調査	疾病罹患状況、健康状態、食事、アテネ不眠尺度、心理的苦痛(K6)、震災の記憶、職業の状況、地域のつながり、活動状況	
健診	血液検査	貧血、高脂血症、血糖値など
	歯科健診	歯科医による診察
	呼吸・循環機能	肺活量、血圧、心拍数
	身体測定	身長・体重・腹囲、握力検査

○身体面の健康状態は全国レベルと同様

- ・全国に比べ肥満者の割合は多く、懸念された低栄養状態(アルブミン比較)でも全国レベルと差はなかった。
- ・高血圧の割合32.7%も、全国平均39.4%と比し、低い結果。

○不眠や不安、抑うつなどの精神面の問題が大きい。

- ・雄勝・牡鹿地区及び若林区では、睡眠障害が疑われる者が約4割、心理的苦痛を感じている者の割合が全国レベルの2-3倍。
- ・一方、地域のつながりが最も強かった網地島地区では、不眠・心理的苦痛ともに全国平均より低い結果。
- ・メンタルヘルスに関連する要因として、1)震災後のショック・喪失感・トラウマ、2)仕事(収入・暮らし+生きがい・誇り)、3)周囲への信頼感(ソーシャルキャピタル)が考えられた。

平成23年度調査研究（岩手県）の概要

岩手県

分担研究者：岩手医科大学医学部衛生学公衆衛生学 坂田清美教授

調査協力者 10,475名（H22年度結果マッチング可能者4,120名）

山田町<9～11月> 3,216名（H22結果マッチング可能者 1,484名）

大槌町<12月> 2,079名（同 843名）

陸前高田市<10月～2月> 4,908名（同 1,666名）

釜石市下平田地区<10月> 272名（実施せず）

・年齢構成としては60代（陸前高田市及び釜石市下平田地区男性は70代）が最多

・就労者のうち、失業したと回答した者は、山田町37.0%、大槌町37.7%、陸前高田市29.0%、下平田地区49.2%

アンケート調査		疾病罹患状況、健康状態、食事、アテネ不眠尺度、心理的苦痛(K6)、震災の記憶、職業の状況、地域のつながり、活動状況
健診 (18歳以上)	血液検査	貧血、高脂血症、血糖値など
	歯科健診	歯科医による診察
	呼吸・循環機能	呼吸機能、血圧、心拍数
	身体測定	身長・体重・腹囲、握力検査、眼底・心電図(40歳以上)

健診結果については、平成22年度の受診結果がある者について、その結果と比較

○身体面の健康状態に大きな影響は見られなかった。

- ・収縮期血圧：平成22年の結果と比べ、山田町・大槌町では低下、陸前高田市では変化が見られなかった
- ・血清アルブミン：3市町とも平成22年度結果と変化が見られず、栄養状態の全般的な悪化は見られなかった。

○不眠や不安、抑うつなどの精神面の問題が大きい。

- ・4市町の住民の約4～5割（全国平均は28.5%）に睡眠障害が認められた。震災による肉親の喪失や住居の破壊に伴う頻回な移動、失職による経済状態等が関連していると考えられた。
- ・心の元気さについても4割以上の住民に問題が、5-7%は重症群であった。